

—対応報告—

東日本大震災における多摩永山病院の対応

二宮 宣文* 新 博次**

日本医科大学多摩永山病院

The Nippon Medical School Tama Nagayama Hospital's Response to the Great East Japan Earthquake

Norifumi Ninomiya* and Hirotsugu Atarashi**

Nippon Medical School Tama Nagayama Hospital

はじめに

2011年3月11日14時46分東日本大震災が東北地方を中心に発生した。日本医科大学多摩永山病院は直ちに病院として東日本大震災発生直後からの対応を各部門を対象に調査し考察した。

活動の内容

1. 守衛室の対応

A 棟管理棟巡回実施

A 棟エレベーター2機停止したがエレベーター内閉じ込めなし。→エネルギー管理室へ報告

A 棟屋上の給水槽の減衰・満水警報発報（連動操作盤）。→エネルギー管理室へ報告

A 棟・管理棟内外巡回。→ほか、異常なし

B 棟C 棟巡回実施。B 棟4・5・6・7号機, C 棟1・2号機エレベーター停止したがエレベーター内閉じ込めなし。→エネルギー管理室へ報告

B 棟4階2407号室前, 天井より水漏れ。→エネルギー管理室へ報告

C 棟3階勤務室, 薬品棚が倒れた。

C 棟5階勤務室, 薬品棚が倒れた。

B 棟地下水漏れあり。

B 棟2階・4階・5階の防火扉が閉じていたので, 復旧する。

上記以外のB 棟C 棟各階異常なし。

15:00 A・B・C 棟非常放送実施

15:08 庶務課へ巡回報告

15:10 余震あり

15:12 守衛長から連絡あり

15:18 余震あり

15:19 A 棟連動操作盤にて4階防火扉発→復旧

*多摩永山病院救命救急センター部長, **多摩永山病院院長
Journal Website (<http://www.nms.ac.jp/jmanms/>)

- 15:20 B・C棟エントランス自動ドア開放
- 15:23 A・B・C棟非常放送実施
- 15:25 A棟巡回→異常なし
- 15:28 余震あり
- 15:39 管理棟巡回→異常なし
- 15:40 庶務課長より命令→守衛増員, 巡回強化
- 15:41 エレベーターの始動などは庶務課の判断による
- 15:50 A棟1階救急外来前路トイレの便器内の水が茶色に変色→報告
- 15:51 エネルギー管理室より三菱エレベーターが来院の報あり
- 16:30 守衛長到着
- 16:40 全エレベーター復旧
- 17:05 電話交換室より全館一斉放送(安全確認終了により通常状態へ戻る)
- 19:00 A棟・管理棟定時巡回
- 20:40 事務部長・守衛長にて全棟巡回実施
- 21:00 C棟2階集会室を職員仮眠室として利用(カーペット設置・布団セット設置)

3月12日

- 01:00 A棟・管理棟定時巡回
- 02:00 B・C棟定時巡回
- 03:11 余震あり(震度2)

その他:公共の交通機関が使用できないため,患者家族などがロビーおよび病棟談話室にて仮眠や公共機関の復旧までの休憩場所として利用
不審者チェックを行う.

2, 庶務課の対応

緊急時対策本部設置

3月11日より3月16日まで院長室を本部とした.

帰宅困難者のため,集会室を仮眠室に開放する.

3月12日

東京都に<救急医療機関被災状況調 3/12AM9:00 現在>の回答を行う.

東京都に<東北地方太平洋沖地震発生に伴う患者受け入れ可能数調査票>の回答を行う.

3月14日

計画停電実施に伴い8:30より対策会議を実施.

本部統轄は事務部長とする.東京都に<停電による診療体制の影響調 3/14AM9:00 現在>の回答を行う.

本部要員構成は庶務課1名,医事課1名,資材課1名,守衛室1名

休日や平日17時以降の計画停電の実施が不明な場合や,実施する場合において,本部要員の当番制を実施する.

3, 施設課の対応

1) 施設関係の確認

- (1) エレベーター (A棟・B棟・C棟)

①震災発生時の対応

閉じ込められた方がいるかの確認

②震災後の対応

運転の見合わせ

手術患者に対してのみ同乗および無線により患者動線の確保

③震災後 2～3 日後の対応

不安解消のためエレベーターに同乗し各フロアでの患者誘導

一部のエレベーター時間帯による使用制限

(2) 各施設の巡回

①震災発生時の対応

A・B・C 棟の各施設の巡回（待機者 1 名以外すべて）

②震災後の対応

C 棟 3 階・5 階のブイドマーキャビネットの転倒対応

建物クラックの目視点検

③震災後 2～3 日後の対応

各部署および施設の故障対応

2) 在庫品の確保

①震災後の対応

電池類・トイレトペーパー・ペーパータオル・ティッシュペーパー・懐中電灯の在庫確認

②震災後 2～3 日後の対応

電池類・トイレトペーパー・ペーパータオル・ティッシュペーパー・懐中電灯の確保依頼

3) 在宅療法患者への対応

①震災後 2～3 日後の対応

在宅療法患者に対して各メーカーへ確認および対応依頼指示

「地震発生後、エネルギー管理室で出勤者 5 名および資材課施設係 2 名にて各建物のライフラインを含むすべての設備を手分けして巡回点検した。地震の揺れにより、防火扉のラッチが外れて 3 カ所が閉止し、点検後復旧作業をした。A 棟のガスメーターの感電器が作動したため点検後復旧作業した。A・B・C 棟のエレベーター 8 台が感震器作動して停止した。各建物でのクラックなどの異常がないか巡回点検を行った。中央監視装置においては、各種警報が多発しシステム停止となったため、復旧作業を行った。プレハブ女子更衣室のブレースが揺れのため数カ所脱落したため復旧作業を行った。」

4. 計画停電対応

1) 3 月 14 日

8:00 院長室にて協議

8:30 第一会議室にて打ち合わせ

出席者：院長・副院長・各科部長・看護師長・各課長・各係長・守衛長

①手術に関して

緊急疾患(出血・炎症・帝王切開など)悪性疾患については、時間の変更はあるが予定どおり行う。

ほかの手術は延期する。

②入院患者

入院予定者で延期可能な患者に連絡し延期を促す。ME 部は充電可能な機器を確認し充電しておく。人工呼吸器は無停電の非常電源へ接続する。検査は緊急性のないものは延期する。

③外来

予約外外来患者については緊急性のないものは断る。予約患者は緊急性のない患者は後日の診療へ変更する。輸液療法は原則として施行する。MRI・CT・RI は停電中は施行できない。

④給食

仮設電源にて対応

⑤院内設備について

スイッチ類に赤い印のあるものは非常電源対応なので使用可能。A・B・C 棟のエレベーターは患者搬送用のエレベーターのみ使用可能。ボイラーは 1 台は運転可能。自家発電機は非常電源を使用率 100% として、48 時間運転可能。

⑥面会について

ある程度の制限あり。

2) 3 月 15 日

計画停電予定時間 (18:20~22:00)

8:00 院長室にて協議

8:30 第一会議室にて打ち合わせ

出席者：院長・副院長・各科部長・看護師長・各課長・各係長・守衛長

①日勤帯においては通常勤務で行う。

②非常電源の仮設状況

A-1 外来トイレ, A-2 輸液, A-4 男女トイレ, B-地下 厨房 ボイラー (1 台) 薬剤, B-1 トイレ, B-3・4・5 トイレ, C-3・4・5 トイレ, 院内 PHS 電源, TV ブースター, 公衆電話

③放射線科 RI・MRI・CT・アンギオは停止。

④PHS・ナースコールは使用可能。

⑤サーバーは電源を落とさない。

⑥エレベーターは A 棟 2 号, B 棟 5・6 号, C 棟 2 号を停止。

⑦各端末は停電復旧後 10 分経ってから起動。

16:00 医事課課長が京王・小田急の各線の状況調査

京王線—通常運行, 小田急多摩線—運休, 小田急線—終日運行, JR 南武線—通常の 40~50% で運行, 横浜線—運休。

18:00 院内対応を打ち合わせ通りに実施

20:30 計画停電中止決定

3) 3 月 17 日

計画停電実施予定時間 (12:20~16:00)

10:00 事前準備終了

12:00 院内放送 (実施連絡)

12:10 事務長より計画停電中止の連絡あり各部署に通知。

12:20 院内放送 (中止連絡)

14:00 3 月 21 日までの対策会議

多摩市一部において 13:00~16:00 に計画停電実施される。

4) 3月18日

計画停電実施予定時間 (9:20~13:00, 16:50~20:30)

8:35 事務部長より計画停電の中止の連絡があり各部署に通知.

8:45 院内放送 (中止放送)

16:50 連休中の対応に対する打ち合わせ.

19:30 全グループの計画停電の中止の報あり.

以後計画停電は、多摩永山病院を含む地区は一度も実施されなかったが、計画実施予定に合わせて同様な対応を行った.

統 括

日本医科大学多摩永山病院は2011年3月11日に起こった東日本大震災に対して、発災直後の初期安全対応を行い、その後に続く計画停電に対応した。幸いにして事故などはなかった。病院対応は各部署は十分な対応を行ったが、今回の災害の教訓を踏まえ院内災害マニュアル再検討を行う必要がある。

2011年3月11日に起こった東日本大震災に対して、日本医科大学多摩永山病院では、初期から計画停電まで災害対応を行い、事故もなく地域医療に対する影響も最小にすることができた。

(受付: 2011年9月2日)

(受理: 2011年9月8日)
